

自動車業界 550 万の働く人々と自動車ユーザーへ感謝を伝える

『クルマ・社会・パートナーシップ大賞』（CSP大賞） 第3回（2023年度）受賞者を決定



日本自動車会議所は、第3回「クルマ・社会・パートナーシップ大賞」（CSP大賞）の受賞者を決定いたしましたので、お知らせいたします。

第3回CSP大賞では、選考委員会が25件の「グッドパートナーシップ事業」を選定し、その中から「大賞」に自動車技術会（東京都千代田区）のキッズエンジニア事業を、それに次ぐ「選考委員特別賞」に、はちどり（愛知県安城市）の園児置き去り防止への活動をはじめ、部門賞となる「モビリティ・ソリューション賞」3件、「地域・コミュニティ活性化賞」3件、「SDGs貢献賞」3件、「自動車ユーザー連携賞」2件の受賞者を決定いたしました。

表彰式は2月9日（金）に第一ホテル東京（東京都港区）で開催する予定です。

CSP大賞は、自動車業界で働く550万の人々と自動車ユーザーによるさまざまな貢献に「ありがとう」と感謝を伝え、それぞれの素晴らしい取り組みが世の中に広がっていく一助になればとの思いから、2021年に創設し、日刊自動車新聞社と共催しています。

第3回目を迎える今回は、昨年9月に公募を開始し11月末までの約2カ月間、全国から62件のご応募をいただきました。選考委員会（委員長：鎌田実 東京大学名誉教授・日本自動車研究所所長）の審議を経て、受賞者を決定いたしました。

鎌田委員長は「応募内容は優れた活動が多く、なかなか線引きが難しい面もありましたが、長く地道に取り組んでいただいているものや素早く横展開して世の中に広がっていくことを期待するものなどを中心に、『ありがとう』の感謝の意を伝えたいと考えながら選考を進めました」と選考経緯について述べています。

そのうえで「大賞の自動車技術会のキッズエンジニア事業は、次世代を担う子供たちにもものづくりの楽しさを知り、技術者になる夢を持ってもらうため、2008年から毎年実施している事業です。産官学協力の下、自動車を支える様々な分野の科学技術やものづくりについて学ぶ機会を無償で提供してきました。参加した子供たちは目を輝かせて取り組み、それを見ると教える側も力が入るとい、いい形で継続ができています。選考委員特別賞を受賞したはちどりの活動は、子どもたちを通園バスの置き去り事故から守るために、クラクションを自ら鳴らす体験を学んでもらうもので、通園バスに限らず置き去りによる痛ましい事案が起きることへの対策にもなり、活動実績は長くないものの重要事象への対応として高く評価いたしました」と選考理由の一端をコメントしています。

受賞事業および表彰式の概要は別紙のとおりです。

（本発表資料のお問い合わせ先）

一般社団法人 日本自動車会議所

〒105-0012 東京都港区芝大門 1-1-30 日本自動車会館 15 階

TEL. 03-3578-3880 FAX. 03-3578-3883

E-mail. Award2023@aba-j.or.jp

担当：勝田、田村



第3回「クルマ・社会・パートナーシップ大賞」受賞事業について

(五十音順)

I 大賞・選考委員特別賞・部門賞受賞者 (グッドパートナーシップ 25 事業より選定)

1. 大賞

2008 年より続く小学生に自動車を支える科学技術やモノづくりを学ぶ機会を無償で提供する「キッズエンジニア」の取り組み	(公社)自動車技術会 (東京都千代田区)
---	-------------------------

2. 選考委員特別賞

度重なる園児置き去り事故を受けて通園バスを利用して園児達にクラクション体験を学んでもらう交通安全教室の実施・展開	(株)はちどり (愛知県安城市)
--	---------------------

3. 部門賞

(1) モビリティ・ソリューション賞

創立 60 年を迎えた自動車教習所が地域の交通安全教育センターとして子供達への幅広い交通安全教育や行政連携を進める諸活動	(株)大宮自動車教習所 (さいたま市見沼区)
子供が描く絵やメッセージをトラックの背面にラッピングするなどの活動により交通安全啓発が全国に拡大している取り組み	(一社) こどもミュージアムプロジェクト協会 (大阪府茨木市)
地域の高齢者が主役となって電動カート車両を運行し地域を支えるグリーンスローモビリティ地域推進事業	松戸市 (千葉県松戸市)

(2) **地域・コミュニティ活性化賞**

警視庁との災害時における給電車両貸与協定に基づく都内各警察署との防災活動や信号機への給電訓練を実施するなどの諸活動	トヨタモビリティ東京(株) (東京都港区)
自動車関連企業ならではの地域貢献として地元公的機関と連携し茨城県内の小学校に森を創るなどの諸活動	(株)ナオイオート (茨城県取手市)
事業拠点のある木更津市との協定に基づく地域活性化に向けた広範で継続的な地域パートナーシップ活動	ポルシェジャパン(株) (東京都港区)

(3) **SDGs 貢献賞**

自動車販売会社などから出る廃オイルの再生重油を利活用した実質 CO ₂ 排出ゼロの資源循環型農業を目指す取り組み	GNホールディングス(株) (群馬県前橋市)
1969 年からのトヨタ自動車が無就学児向け交通安全啓発絵本の制作と、以来地域の系列全販社が県内全幼稚園・保育園などに絵本を贈呈している活動の共同の取り組み	トヨタ自動車(株) (東京都文京区) 静岡県オールトヨタ販売店グループ (静岡市葵区)
地域の小学校に対して専門性のある福祉車両や同乗する車いすの体験授業を通して共生社会に向け生徒の気づきを促す取り組み	トヨタハートフルプラザ横浜 (横浜市中区)

(4) **自動車ユーザー連携賞**

交通安全対策の一環として地元の法人の福利厚生制度に自動車点検を加えてもらい、従業員の通勤車を出張して点検する取り組み	トヨタカローラ香川(株) (香川県高松市)
地域の自動車文化醸成および整備技術伝承・人材育成を目的とした自動車博物館運営とレストアに関する諸活動	奈良トヨタ(株) (奈良県奈良市)

II 「グッドパートナーシップ事業」全 25 事業

□…上位賞受賞

①	定期的に地域の自動車関係団体が連携して自動車の点検整備・税金・交通事故・保険などあらゆる相談ができる「自動車なんでも相談所」実施の取り組み	(一社) 愛知県自動車会議所 (名古屋市昭和区) (一社) 神奈川県自動車会議所 (横浜市都筑区)
②	創立 60 年を迎えた自動車教習所が地域の交通安全教育センターとして子供達への幅広い交通安全教育や行政連携を進める諸活動	(株)大宮自動車教習所 (さいたま市見沼区) モビリティ・ソリューション賞
③	県内の小学生から募集した絵をトラックの荷台カバーにペイントするなど「夢を運ぶトラックデザインコンテスト」の取り組み	(一社) 神奈川県トラック協会 (横浜市港北区)
④	高齢運転者の交通安全をサポートするため運転ヘルスチェックのプログラムを作成し地元警察とも連携し拡大を図る取り組み	神奈川トヨタ自動車(株) (横浜市神奈川区)
⑤	人と自然と車がいつまでも走り続ける社会を目指し環境配慮型農業の取り組みや食育事業を通じて地域活性化を図る諸活動	岐阜トヨペット(株) (岐阜県岐南町)
⑥	子供が描く絵やメッセージをトラックの背面にラッピングするなどの活動により交通安全啓発が全国に拡大している取り組み	(一社) こどもミュージアムプロジェクト協会 (大阪府茨木市) モビリティ・ソリューション賞
⑦	自動車販売会社などから出る廃オイルの再生重油を利活用した実質 CO ₂ 排出ゼロの資源循環型農業を目指す取り組み	GNホールディングス(株) (群馬県前橋市) SDGs 貢献賞
⑧	2008 年より続く小学生に自動車を支える科学技術やモノづくりを学ぶ機会を無償で提供する「キッズエンジニア」の取り組み	(公社) 自動車技術会 (東京都千代田区) 大賞
⑨	水を大量消費する洗車機のメーカーとして水に関する地域貢献となる名古屋城の堀の水質浄化から始め今後拡大を図る取り組み	タケウチビューター(株) (名古屋市港区)
⑩	貴重なイリオモテヤマネコをクルマの脅威から守るためスマートフォンのアプリなどを活用して安全運転行動を高める諸活動	デンソー(株) (愛知県刈谷市)

⑪	交通安全対策の一環として地元の法人の福利厚生制度に自動車点検を加えてもらい、従業員の通勤車を出張して点検する取り組み	トヨタカローラ香川(株) (香川県高松市) 自動車ユーザー連携賞
⑫	1969年からのトヨタ自動車が未就学児向け交通安全啓発絵本の制作と、以来地域の系列全販社が県内全幼稚園・保育園などに絵本を贈呈している活動の共同の取り組み	トヨタ自動車(株) (東京都文京区) 静岡県オールトヨタ販売店グループ (静岡市葵区) SDGs 貢献賞
⑬	地域の小学校に対して専門性のある福祉車両や同乗する車いすの体験授業を通して共生社会に向け生徒の気づきを促す取り組み	トヨタハートフルプラザ横浜 (横浜市中区) SDGs 貢献賞
⑭	自社施設を新設した鉱山跡地における自治体・地域と協働・連携した緑地の復元など環境保全に関する諸活動	トヨタ紡織(株) (愛知県刈谷市)
⑮	警視庁との災害時における給電車両貸与協定に基づく都内各警察署との防災活動や信号機への給電訓練を実施するなどの諸活動	トヨタモビリティ東京(株) (東京都港区) 地域・コミュニティ活性化賞
⑯	自動車関連企業ならではの地域貢献として地元公的機関と連携し茨城県内の小学校に森を創るなどの諸活動	(株)ナオイオート (茨城県取手市) 地域・コミュニティ活性化賞
⑰	地域の自動車文化醸成および整備技術伝承・人材育成を目的とした自動車博物館運営とレストアに関する諸活動	奈良トヨタ(株) (奈良県奈良市) 自動車ユーザー連携賞
⑱	東日本大震災・原発被災後さらなる高齢化が進む福島県浪江町におけるデマンド型乗り合いサービスなど公共交通確保の取り組み	日産自動車(株) (横浜市西区)
⑲	東日本大震災後に地域の子供達のため防災林植林や伝統的な祭りなどへの体験活動を企画運営する「そらっこくらぶ」の取り組み	ネットトヨタ仙台(株) (仙台市宮城野区)
⑳	度重なる園児置き去り事故を受けて通園バスを利用して園児達にクラクション体験を学んでもらう交通安全教室の実施・展開	(株)はちどり (愛知県安城市) 選考委員特別賞

②①	通常ダンプトラックより 2 倍の荷物を積み安全性能も高めた高効率コンパクトトレーラダンプの開発による物流諸課題への対応	(株)花見台自動車 (福島県いわき市)
②②	伊豆・小笠原諸島における自然災害に伴う停電対策として中古軽自動車 EV や外部給電器の供給などにより住民を支援する取り組み	東日本三菱自動車販売(株) (東京都目黒区)
②③	事業拠点のある木更津市との協定に基づく地域活性化に向けた広範で継続的な地域パートナーシップ活動	ポルシェジャパン(株) (東京都港区) 地域・コミュニティ活性化賞
②④	地域の高齢者が主役となって電動カート車両を運行し地域を支えるグリーンスローモビリティ地域推進事業	松戸市 (千葉県松戸市) モビリティ・ソリューション賞
②⑤	車いすユーザーにレンタル・リースやサブスクを通じて個人用の福祉車両の普及を図る「福祉車両コンシェルジュ」の取り組み	(株)ミズタニ (京都市南区)

以上

第3回(2023年度) 「クルマ・社会・パートナーシップ大賞」表彰式概要

1. 日時： 2024年2月9日(金) 15:00-16:30
2. 場所： 第一ホテル東京 4階プリマヴェーラ(東京都港区新橋1-2-6)
3. 出席者： 日本自動車会議所 内山田竹志会長
日刊自動車新聞社 花井真紀子社長
鎌田実選考委員長・各選考委員
各受賞者
会議所役員・会員 他
4. 次第等： ①主催者代表挨拶
②選考委員長講評
③表彰状・副賞授与
④受賞者取り組みプレゼン・紹介 等

[取材のご案内]

▽表彰式については、是非ご取材いただきたく、ご依頼申し上げます。

▽取材ご希望の場合は、報道機関名、お名前、電話番号を明記の上、

E-mail: Award2023@aba-j.or.jpまで、

メールにて、2月6日(火)までにご連絡ください。

第3回（2023年度）「クルマ・社会・パートナーシップ大賞」

募集概要

- 主催** 一般社団法人 日本自動車会議所（全163会員）
株式会社 日刊自動車新聞社
- 後援** 経済産業省・国土交通省・一般社団法人日本自動車連盟（JAF）・
全日本自動車産業労働組合総連合会（自動車総連）
- 目的** (1)自動車業界で働く人々や、自動車ユーザーを含めた自動車にかかわる
全ての方々が、わが国の社会や自動車業界に果たしている貢献に対し
て、「ありがとう」と感謝の意を伝える
(2)表彰を通じて、それぞれの貢献の取り組みにあらためて注目を集め、
認知を広げることで、同じような取り組みが拡大していく一助とする。
- 応募対象** 日々の業務・活動をベースにしながら、以下(1)～(4)のいずれかの分野
に実際に取り組む自動車業界で働く方々や自動車ユーザー（原則として国内
における取り組みが対象）

- (1)モビリティに関する課題や、モビリティの手段を通じた社会課題の解決に
取り組んでいる。（例：交通安全、公共交通、MaaS等）
(2)地域や自治体と協働・連携し、地域活性化に取り組んでいる（含：災害・緊急時）
(3)SDGs目標達成につながる取り組みを行っている（含：教育、健康、福祉）
(4)ユーザーとして自動車を大切に取り扱い、性別や年齢等に関わらず幅広い層か
ら評価される取り組みを行っている

受賞構成 選考委員会が行う応募内容の厳正・公正な審査により、大賞ならびに大賞
に準ずる部門賞・各賞を選定（受賞数・詳細は選考委員会が決定）

- 募集・** (1)23年9月5日 募集開始
選考日程 (2) 11月20日 募集締切
(3) 年内 選考委員会による受賞者選定
(4)24年1月15日 受賞者公表
2月9日 表彰式開催 都内会場で当会議所会長より表彰状授与

選考委員会 委員長：鎌田実 東京大学名誉教授（委員は別添のとおり）
※法人の社会活動や自動車業界に詳しい有識者等で委員構成

- 応募要領** (1)日本自動車会議所もしくは日刊自動車新聞社のホームページ（HP）
にある本賞のバナーにアクセスし、応募申請フォームに記入し送信
(2)お問い合わせ並びに添付資料は下記電子メールアドレスで受け付け



（本賞バナーQRコード）

<日本自動車会議所 HP アドレス <https://www.aba-j.or.jp/>>
<日刊自動車新聞社 HP アドレス <https://www.netdenjd.com/>>
<電子メールアドレス Award2023@aba-j.or.jp>

以上

(別添)

選考委員

- 鎌田 実 東京大学 名誉教授
<委員長> (一財)日本自動車研究所所長
- 関根 千佳 (株)ユーディット 会長兼シニアフェロー
- 森 撰 (株)オルタナ 代表取締役社長
「オルタナ」編集長
- 加藤 和夫 (一社)日本自動車販売協会連合会 理事相談役
- 田口 亜希 (公財)日本財団パラスポーツサポートセンター
推進戦略部ディレクター
- 山岡 正博 (一社)日本自動車会議所 専務理事(主催者事務局)
- 花井 真紀子 (株)日刊自動車新聞社 代表取締役社長(同)

以上